

NSF、NIHと共同でビッグデータ基礎研究事業 8 件に総額約 1,500 万ドルを助成 (10 月 3 日)

米国国立科学財団(National Science Foundation:NSF)は10月3日、国立保健研究所(National Institutes of Health:NIH)と合同で、ビッグデータ基礎研究事業 8 件に対して、総額約 1,500 万ドルの助成を行うことを発表した。

今回の助成は、2012年3月にオバマ政権が立ち上げた「ビッグデータ研究開発イニシアティブ (Big Data Research and Development Initiative)」の一端をなすものであり、科学技術研究及びイノベーションにおける進歩を加速させるため、膨大なデータセットから知識を抽出・利用するための新しいツール及び手段を開発することを目的とし、ビッグデータ管理、新規データの分析的アプローチ、オンラインを利用した科学共同研究に必要な科学的技術の全領域を取り扱うものである。

この他にも NSF は、米国航空宇宙局 (NASA) 及びエネルギー省 (Department of Energy) と共に、科学・工学に利用できるアイデアのコンペ「ビッグデータ・チャレンジ (Big Data Challenge)」の開催を発表している。

同コンペは、NASA トーナメント研究所 (NASA Tournament Lab) が、ハーバード大学 (Harvard University) 及びデジタル研究開発コミュニティーのトップコーダー (Top Coder) と共同で運営するものである。

National Science Foundation, NSF Announces Interagency Progress on Administration's Big Data Initiative

http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=125610